

年	組	番	名前
---	---	---	----

# 思考実験 気候変動への対策には何が必要?

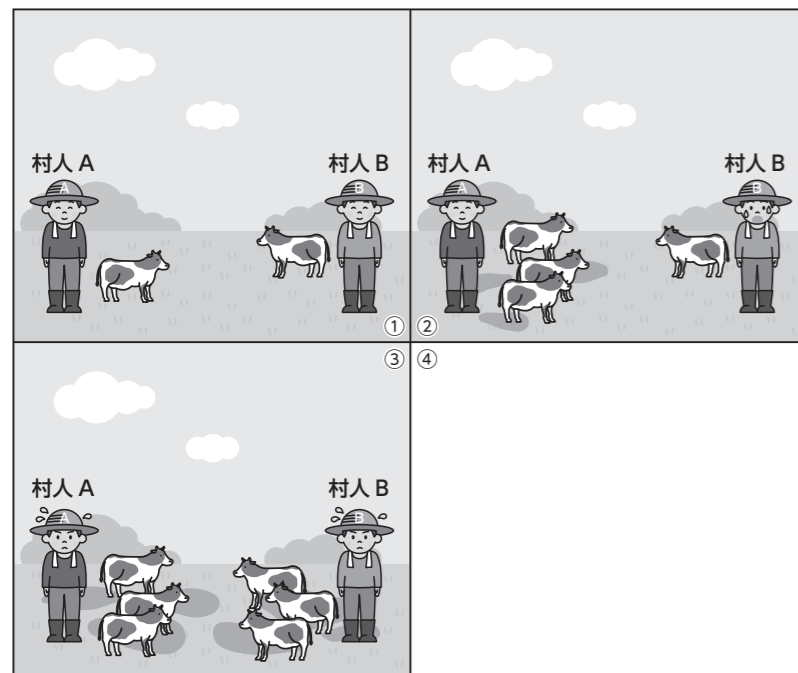
## Q1 環境問題について、現状と対策を整理してみよう。

(1) 「環境問題」と聞いて思い浮かべる事例を一つ挙げて、p.295-320 を参考に現状と対策をまとめてみよう。

事例	現状と対策
(例) 生物多様性	(例) 現在、約 25,000 種の野生生物の絶滅が危惧されている。生物多様性の保全に向けてラムサール条約などの条約が採択され、国際的な協議も進められている。

## Q2 環境問題の解決の難しさを説明する際に、「共有地の悲劇」というモデルが用いられることがある。以下のよ うな架空の設定を基に、「共有地の悲劇」の考え方を確認してみよう。(→ p.39【II】①、p.40【II】②)

【設定】次のような状況について考えてみよう。



- ①ある農村には共有の大きな牧場があり、村人たちは牧場の草を飼料として、自分の牛を放牧して生活していた。
- ②ある日、もっと収入を増やしたいと考えた村人 A は、放牧する牛を増やした。その結果、これまでよりも多くの牛乳や牛肉を出荷することでどんどん豊かになった。
- ③それを見たほかの村人は感心し、自分も豊かになろうと村人 A のまねをし始めた。村人たちはだんだんと豊かになったが、ほかの人に先を越されまいと牛の数をどんどん増やしたため、飼料の牧草は減り、土が露出している地面も増えてきてしまった。

(1) このような状況で、あなたは牛の数を増やすだろうか。自分の選択に○を付け、理由と共に考えてみよう。

あなたの選択	選択の理由
増やす 増やさない	

(2) この農村が今後どうなるかを考え、左下の 4 コマイラストの④のイラストを描いてみよう。

(3) 「共有地の悲劇」とはどのような状況か、p.40【II】②を参考に以下の空欄を埋めてみよう。

「共有地の悲劇」とは、ある人が(A \_\_\_\_\_)な行動を取ることで、ほかの人々もそれと同じ行動を取り、結果的に共有地の(B \_\_\_\_\_)が無くなり、全員にとって(C \_\_\_\_\_)状態になる、というモデルである。

(4) 共有地である牧場が機能し続けるためには、どのような方法が考えられるだろうか。

## Q3 「共有地の悲劇」を踏まえながら、環境問題について考えてみよう。(→ p.40【III】)

(1) 環境問題に対する国際的な枠組みを作る際には、どのような点を考慮することが重要だろうか。「共有地の悲劇」や、地球温暖化への取り組みである京都議定書やパリ協定(→ p.298)を参考にしながら、枠組みを作る担当者の立場になって、考えてみよう。

【あなたの考え】

【他の人、グループの考え】

(2) 地球という「共有地」で暮らす一人の人間として、気候変動という「悲劇」を避けるために、p.295-320 も参考にしながら、自分でもできることを考えてみよう。

【あなたの考え】

【他の人、グループの考え】